

May 10, 2019

**【前日の為替概況】ドル円、米中通商協議への警戒感から 109.47 円まで下落**

9日のニューヨーク外国為替市場でドル円は5日続落。終値は109.74円と前営業日NY終値(110.10円)と比べて36銭程度のドル安水準だった。米中貿易摩擦が激化すると懸念からダウ平均が450ドル近く下落すると、リスク回避的な円買い・ドル売りが先行、米長期金利の低下に伴う売りも出て109.47円まで下落した。ただ、トランプ米大統領が「習・中国国家主席と電話会談を実施する可能性がある。米中合意について素晴らしい代替案がある。今週中の中国との合意は依然として可能」と述べたことで、ドル円は109.90円付近まで反発、ダウ平均は80ドル安程度まで下げ幅を縮めた。

ユーロ円は7日続落したものの下値が堅かった。終値は123.08円と前営業日NY終値(123.22円)と比べて14銭程度のユーロ安水準。欧州市場で122.49円まで下落した後は買い戻しが優勢となり、米国株の下げ渋りやユーロドルの上昇が相場の下支え要因となり123.27円まで反発した。

ユーロドルは上昇。終値は1.1215ドルと前営業日NY終値(1.1192ドル)と比べて0.0023ドル程度のユーロ高水準。米長期金利の低下などからユーロ買い・ドル売りが先行し1.1251ドルまで上昇したが、トランプ米大統領の発言を受けて伸び悩んだ。

トルコリラ円は売り先行後、下げ渋った。トルコの民主政治への警戒感や対米関係悪化への懸念などから17.51円まで下落した。ただ、トルコ中銀は、通貨リラの下落に歯止めをかけるため「金融市場の動きを考慮する」と緊急声明を出し、1週間物レポ金利(年24%)を使った市中銀行への資金供給を当面停止すると発表。米国株が下げ渋ったこともあって取引終了間際には17.71円付近までリラ買い戻しが進んだ。

**【本日の東京為替見通し】ドル円、米中通商協議の合意か決裂かに要警戒か**

本日の東京市場のドル円は、米中通商協議が合意に至るのか、それとも決裂して、午後1時1分にトランプ米政権による対中制裁関税引き上げが断行されるのかを見極める展開となる。

トランプ米政権は、米中通商協議が合意に至らなかった場合、10日の米国東部時間午前0時1分(日本時間午後1時1分)に、中国からの輸入品2000億ドルに対する輸入関税率を10%から25%に引き上げると警告している。そして、中国は、その1分後に報復関税を発動する、と警告していることで、米中貿易戦争の休戦が終わることになる。

- ・4月29-30日：北京で米中通商協議
  - ・5月3日：中国が、知的財産・企業秘密の保護、技術の強制移転などの分野で法律を改正すると約束を撤回した合意文書を米国に提示
  - ・5月5日：トランプ米大統領が、中国は約束を破った、として、対中関税率引き上げを警告
  - ・5月9-10日：ワシントンで米中通商協議
- 予想されるリスクシナリオは以下の通りとなる。

## 1) 合意に到達する

トランプ米大統領は、「中国に関しては心配無用。全て上手くいく」「習中国国家主席と電話会談を実施する可能性がある。米中合意について素晴らしい代替案がある。今週中の中国との合意は依然として可能」と述べている。

## 2) 制裁関税は引き上げるが、通商協議は継続する

中国側は、知的財産・企業秘密の保護、技術の強制移転などの分野で法律を改正すると約束を撤回している。法律改正を受け入れるには、中国政府内での協議の時間が必要なことで、とりあえず2000億ドルに対する25%関税を受け入れて、撤廃に向けた協議を継続する。トランプ大統領も、2020年11月の米大統領選挙に向けて、米中貿易戦争よりも米中通商合意の方が再選の確率は高まることになる。

## 3) 交渉決裂で米中貿易戦争再開

中国側が法律改正を拒否して米中通商協議は決裂し、米国が対中制裁関税を引き上げ、中国も報復措置を発動する。最悪の措置は、保有米国債の売却となる。

## 4) 関税引き上げを延期して、通商協議は継続する

トランプ米大統領の関税引き上げのツイートは、中国が法律改正の約束を破棄したことに対する怒り「中国は約束を破った」から発せられたものだった。中国側に法律改正の意図が無ければ、劉鶴中国副首相がワシントンへ出向くはずがないことで、合意文書案の修正を撤回し法律改正に同意する可能性が高い。

## 【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

## &lt;国内&gt;

- 08:30 ◇ 3月家計調査（消費支出、予想：前年比1.7%）
- 08:30 ◇ 3月毎月勤労統計（現金給与総額、予想：前年比▲0.5%）
- 08:50 ◇ 日銀金融政策決定会合における主な意見（4月24-25日分）
- 08:50 ◇ 対外対内証券売買契約等の状況（週次・報告機関ベース）

## &lt;海外&gt;

- 10:30 ◎ 豪準備銀行（RBA）四半期金融政策報告
- 15:00 ◇ 3月独貿易収支（予想：200億ユーロの黒字）
- 15:00 ◇ 3月独経常収支（予想：260億ユーロの黒字）
- 15:00 ◎ 4月ノルウェー消費者物価指数（CPI、予想：前月比0.4%/前年比2.8%）
- 15:45 ◇ 3月仏鉱工業生産指数（予想：前月比▲0.5%）
- 16:00 ◎ ビルロワ・フランス中銀総裁、講演
- 16:00 ◎ プラート欧州中央銀行（ECB）専務理事、講演
- 16:30 ◎ ラウテンシュレーガーECB専務理事、講演
- 17:30 ☆ 3月英国国内総生産（GDP、予想：前月比横ばい）
- 17:30 ☆ 1-3月期英GDP速報値（予想：前期比0.5%/前年比1.8%）
- 17:30 ◎ 3月英鉱工業生産指数（予想：前月比0.1%/前年比0.5%）
  - ◎ 製造業生産高（予想：前月比0.2%）
- 17:30 ◇ 3月英商品貿易収支/英貿易収支（予想：138億ポンドの赤字/46億ポンドの赤字）
- 18:30 ◎ ビスコ・イタリア中銀総裁、講演
- 21:00 ◎ 3月インド鉱工業生産（予想：前年同月比1.3%）
- 21:00 ◎ 4月ブラジルIBGE消費者物価指数（IPCA、予想：前月比0.63%）
- 21:30 ◇ 3月カナダ住宅建設許可件数（予想：前月比2.8%）
- 21:30 ☆ 4月カナダ雇用統計（予想：新規雇用者数変化1万人/失業率5.8%）
- 21:30 ☆ 4月米消費者物価指数（CPI、予想：前月比0.4%/前年比2.1%）
  - ☆ エネルギーと食品を除くコア指数（予想：前月比0.2%/前年比2.1%）
- 21:30 ◎ ブレイナード米連邦準備理事会（FRB）理事、講演
- 22:08 ◎ ポスティック米アトランタ連銀総裁、講演
- 23:00 ◎ ウィリアムズ米ニューヨーク連銀総裁、講演
- 23:30 ◎ クーレECB理事、講演
- 11日 03:00 ◎ 4月米月次財政収支（予想：1650億ドルの赤字）
- ロシア（振替休日）、休場
- 12日 リトアニア大統領選

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

## 【前日までの要人発言】

9 日 05:49 オア NZ 準備銀行 (RBNZ) 総裁  
「世界経済の成長の鈍さが利下げの理由」  
「インフレ期待はしっかりアンカーされている」

9 日 09:33 トランプ米大統領  
「中国はディールを破った」  
「中国に関しては心配無用。全て上手く行く」  
「われわれは、中国が雇用を奪うのをやめるまで後退しない」

10 日 01:29  
「習近平・中国国家主席から書簡を受け取った」  
「米中合意について素晴らしい代替案がある」  
「今週中の中国との合意は依然として可能」

9 日 10:06 黒田日銀総裁  
「景気は基調として緩やかに拡大している」  
「海外経済中心に下振れリスクの方が大きい」  
「物価目標に向けたモメンタムは維持されている」  
「中銀の政策への信頼が通貨の信認への大きな要素となる」  
「2%の物価安定目標は、物価安定の使命果たすためにも実現が引き続き必要であり、長い目で見て為替レートに資する」  
「米金融政策が日本経済・金融にマイナスの状況を作り出すことは想定していない」  
「日銀のETF購入は、株価にプラスになるとかリスクプレミアムが一挙に削減できるものではない」  
「全体としてバブル期のような過熱感はない」

9 日 10:42 ニール米下院歳入委員会委員長 (民主党)  
「トランプ大統領の納税申告書の提出命令を裁判所に申し立てるかどうかが、9日に判断する」

9 日 16:24 中国商務省  
「中国は一方的な輸入関税に反対」  
「貿易戦争に勝者はいない」  
「中国はいかなる状況にも準備は万端」

9 日 17:18 ケーブル英自民党党首  
「政府と労働党がブレグジット協議で合意するとは予想せず」  
「ブレグジット解決には2回目の国民投票」  
「今年中の総選挙が高い確率」

9 日 18:04 サンダース英 MPC 委員  
「合意なき離脱の後は、おそらくポンドは下落するだろう」  
「英国の中立金利は過去と比べてかなり低い」

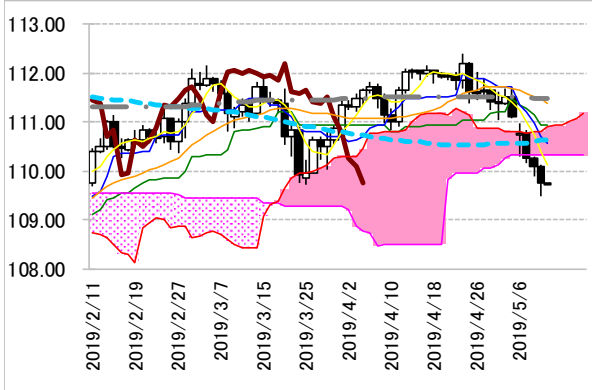
9 日 23:48 パウエル米連邦準備理事会 (FRB) 議長  
「中間層の収入、近年は伸び低迷」

9 日 23:59 メイ英首相報道官  
「メイ首相は本日午後、DUP (北アイルランド地域政党・民主統一党) と自宅で私的な政治会談を行う」

10 日 00:12 ポスティック米アトランタ連銀総裁  
「失業率は歴史的な低水準」  
「景気過熱の兆候は見られない」  
「企業は 25% への関税引き上げが物価上昇につながるの見方」

※時間は日本時間

## 〔日足一目均衡表分析〕

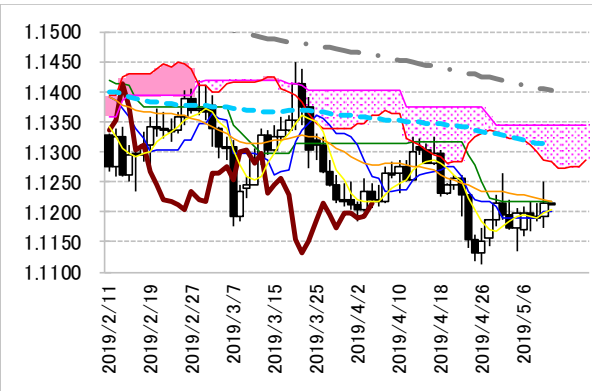


### <ドル円＝一目・雲の下限を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲を下抜けたことで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯した。ダブル・トップ (112.14円・112.40円) 形成後の窓 (111.07円・110.96円) 空け、3手連続陰線で下落トレンドの可能性が高まりつつある。

本日は、一目・雲の下限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 2	110.58(日足一目均衡表・転換線)
レジスタンス 1	110.32(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	109.74
サポート 1	108.50(1/31 安値)

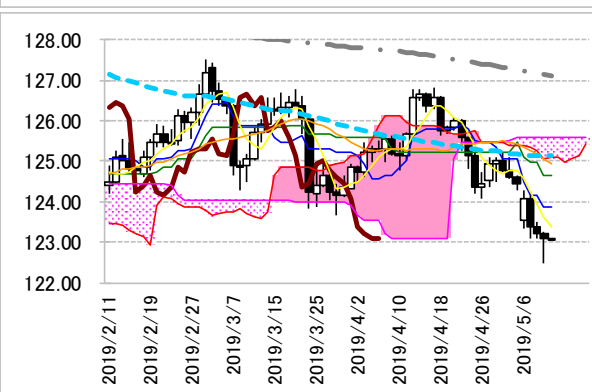


### <ユーロドル＝5/3 安値を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。しかし、2手連続陽線で一目・転換線を上回って引けており、本日の終値が1.1217ドル以上ならば、遅行スパンが陽転する。

本日は、一目・基準線 1.1218ドルを念頭に置き、5月3日の安値を支持に押し目買いスタンスで臨み、同水準を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.1284(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	1.1215
サポート 1	1.1135(5/3 安値)

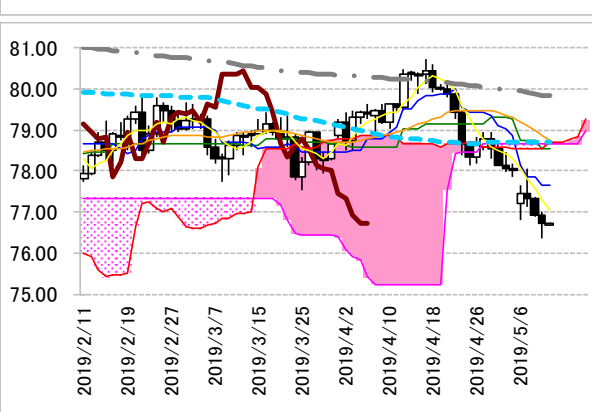


### <ユーロ円＝一目・転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

下ヒゲ陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。

本日は、一目・転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	123.86(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	123.08
サポート 1	122.49(5/9 安値)



### <豪ドル円＝一目・転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

下ヒゲ陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。

本日は、一目・転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	77.64(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	76.72
サポート 1	75.24(1/4 安値)

